

INFORMATION

ISO 13485の審査登録機関として認定を受けました

JQAは2006年7月14日、財団法人日本適合性認定協会(JAB)より医療機器の品質マネジメントシステム規格であるISO13485の審査登録機関として正式に認定されました。

ISO13485は、特別要求事項を追加した医療機器のセクター規格。ISO9001の2000年版への改訂を反映させ、独立規格として2003年に発行されました。現在までにヨーロッパ、カナダ、オーストラリアなど、世界各国で法的監査の要求事項として採用され、日本でも改正薬事法(2005年4月施行)においてISO13485に準拠した厚生労働省令第169号(通称、医療機器QMS省令)が、製品の承認及び認証の品質システムの基準として要求されています。

ISO13485はこの医療機器QMS省令への準備や、海外への医療機器輸出において有効な規格です。

お問い合わせ先

マネジメントシステム部門 推進センター
TEL.03-6212-9555

ISO 13485の認定範囲

化学薬品、化学製品及び繊維

医薬品

ゴム製品、プラスチック製品

電氣的及び光学的装置

番号は認定範囲分類の分類番号

JQAではISO13485の登録審査と合わせて、医療機器の第三者認証(製品認証)業務も行っております。経験豊富なスタッフがスピーディーに対応し、ご相談にも応じますのでぜひご利用ください。お問い合わせは03-3416-0174(総合製品安全部門 安全電磁センター)までお願いいたします。

ISO/IEC 20000 審査登録サービス開始のお知らせ

JQAは、ITサービスマネジメントシステムの認証規格であるISO/IEC20000における審査登録サービスを開始しました。

ISO/IEC20000はITILを基礎とし、ITサービスを効果的に提供するための管理プロセスを記述した唯一のITサービスマネジメント規格です。

ITサービスプロバイダーまたは企業の情報システム部門などにとって、ISO/IEC20000の認証登録により顧客重視による良好なビジネス関係の維持、競争優位性、長期的なコスト削減、システムの信頼性および可用性の改善、良好なスタッフ管理、効果的なサプライヤー・マネジメント、意思決定方法の改善、継続的改善、日本版SOX法への対応などのメリットが考えられます。認証取得をお考えの企業は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

マネジメントシステム部門 推進センター
TEL.03-6212-9555

JQAはISO/IEC20000の審査登録機関として、itSMFの登録を受けております。ご希望により、itSMFのオフィシャルホームページの登録組織リストに登録情報を掲載することができます。



itSMFに登録された世界の審査登録機関リスト画面
<http://www.isoiec20000certification.com/lookuplist.asp?Type=6>

itSMF(IT Service Management Forum)は、英国で1991年に非営利団体(NPO)として設立された会員制ユーザー・フォーラム。1980年代後半に英国商務局(OGC)が作成した情報システムの運用管理基準(ITIL)の普及促進を目的に設立されました。

JQAフォーラム開催のお知らせ

テーマがさらに充実、新たなシステム構築や既存システムのレベルアップに

JQAフォーラムでは、各種マネジメントシステムの構築をお考えの皆様を対象に、新たなシステム構築にお役立ていただける情報提供に努めています。

昨年度までは、新規にお取り組みになる企業のみを対象としていましたが、今年度より既にマネジメントシステムをご活用になっている企業を対象にしたテーマも加え、現行ISOの有効活用や複数規格取得のメリット、複合・IMS審査などについて説明しております。システムの一層のレベルアップに、ぜひお役立てください。

また、セクター規格に関しては新規にシステムを構築される企業を対象に、規格のポイントや最新動向、認証制度の要点、認証登録までの流れを説明し、認証取得のファーストステップとしてご活用いただける内容になっています。

参加は無料で、全国7会場(東京、名古屋、大阪、福岡、北上、仙台、福島)にて開催します。経営者やシステム構築責

任者はもちろん、新規事務局になられた責任者・担当者の教育の場としてもご活用いただけます。どうぞお気軽に足をお運びください。

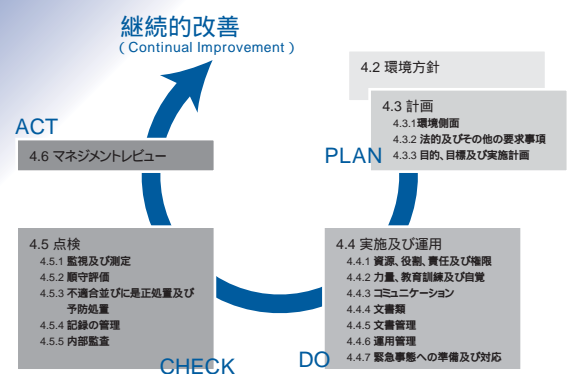


ISO14001:2004規格の構成

序文	4.5 点検(C)
1.適用範囲	4.5.1 監視及び測定
2.引用規格	4.5.2 順守評価
3.用語及び定義	4.5.3 不適合並びに是正処置及び予防処置
4.環境マネジメントシステム要求事項	4.5.4 記録の管理
4.1 一般要求事項	4.5.5 内部監査
4.2 環境方針	4.6 マネジメントレビュー(A)
4.3 計画(P)	
4.3.1 環境側面	付属書A(参考)規格の利用の手引
4.3.2 法的及びその他の要求事項	付属書B(参考)ISO14001:2004と
4.3.3 目的、目標及び実施計画	ISO9001:2000との対応
4.4 実施及び運用(D)	
4.4.1 資源、役割、責任及び権限	
4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	
4.4.3 コミュニケーション	
4.4.4 文書類	
4.4.5 文書管理	
4.4.6 運用管理	
4.4.7 緊急事態への準備及び対応	

JQAフォーラム資料より

環境マネジメントシステムモデル



JQAフォーラム資料より

お問い合わせ先

JQAフォーラム事務局 TEL:03-6212-9529(担当:今井、佐藤)
JQAフォーラムの詳細ならびに申し込み方法は、JQAホームページをご覧ください。

<http://www.jqa.jp>



マネジメント審査登録



JQAフォーラム

JQAフォーラム・各テーマのご説明と11月・12月の開催スケジュール

QM1

【品質マネジメントシステム(ISO9001)】

「ISOを経営に活かすために～ISO14001認証取得からISO9001の取得、経営への有効活用～」

対象:ISO14001をすでに取得されていて、今後ISO9001認証取得を検討されている方

内容:ISOを経営に活かすために、現行ISOの有効活用から、ISO9001取得の提案、さらに複合規格取得のメリット、複合審査・IMS審査などを説明します

スケジュール:11月7日(火)【東京】、11月13日(月)【福岡】

EM1

【環境マネジメントシステム(ISO14001)】

「ISOを経営に活かすために～ISO9001認証取得からISO14001の取得、経営への有効活用～」

対象:ISO9001をすでに取得されていて、今後ISO14001認証取得を検討されている方

内容:ISOを経営に活かすために、現行ISOの有効活用から、ISO14001取得の提案、さらに複合規格取得のメリット、複合審査・IMS審査などを説明します

スケジュール:11月8日(水)【東京】、11月14日(火)【福岡】

EM2

【環境マネジメントシステム(ISO14001)】

「ISOを経営に活かすために～環境経営に求められるコンプライアンスとISO14001～」

対象:新たに環境マネジメントシステム構築を検討されている方

内容:環境経営に求められるコンプライアンスやCSRについて説明し、ISO14001の役割を明確にします

スケジュール:11月28日(火)【福岡】、12月1日(金)【福島】、12月4日(月)【名古屋】、12月5日(火)【大阪】、12月7日(木)【東京】

IM

【情報セキュリティマネジメントシステム(ISO/IEC27001)】

対象:新たに情報マネジメントシステム構築を検討されている方

内容:規格の最新動向を踏まえ、規格のポイント、認証制度の要点、認証取得までの流れなどを説明します

スケジュール:調整中

IT

【ITサービスマネジメントシステム(ISO/IEC20000)】

対象:新たにITサービスマネジメントシステム構築を検討されている方

内容:規格の最新動向を踏まえ、規格のポイント、認証制度の要点、認証取得までの流れなどを説明します

スケジュール:調整中

OH

【労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)】

対象:新たに労働安全衛生マネジメントシステム構築を検討されている方

内容:規格の最新動向を踏まえ、規格のポイント、認証制度の要点、認証取得までの流れなどを説明します

スケジュール:12月1日(金)【東京】、12月8日(金)【大阪】

FS

【食品安全マネジメントシステム(ISO22000)】

対象:新たに食品安全マネジメントシステム構築を検討されている方

内容:規格の最新動向を踏まえ、規格のポイント、認証制度の要点、認証取得までの流れなどを説明します

スケジュール:11月10日(金)【福岡】、11月17日(金)【仙台】、12月8日(金)【名古屋】

定員に達した場合、お申し込みを締め切らせていただきます。お申し込み状況は、webにてご確認ください。

INFORMATION

第7回地球環境世界児童画コンテスト・入賞作品決定!

JQA、IQNet主催、ユニセフ東京事務所後援による「第7回地球環境世界児童画コンテスト」の入賞作品が決定しました。

今回の「大切にしたい身近な自然」をテーマにしたコンテストには、世界48カ国から1万1,328点の作品が寄せられました。6月下旬の最終審査会にて、絹谷幸二審査委員長(画家・東京藝術大学教授)他7名の審査員による厳正な審査により、入選作品112点を選出。7月13日に経団連

会館で開催された表彰式・受賞パーティーには、国内入賞・入選者とその家族が出席し、受賞の喜びをともに分かち合いました。

今回の表彰式では初の試みとして、国内最優秀賞受賞者が代表して作文を発表。また、受賞パーティーでは出席者全員が壇上で自分の作品を紹介しました。本コーナーでは、終始なごやかな雰囲気で行われた表彰式・パーティーの様様を中心にお届けします。



国内部門入賞・入選の皆さん



受賞者を代表し作文を発表する秋山雛子さん



インタビュー形式で自分の作品を紹介



受賞パーティーの様子

毎年、多くの方に子どもたちの素晴らしい作品をご覧いただくために、作品展示会を国内外で開催しています。今年の夏に開催された展示会の模様を紹介します。

NY国連本部ビル(8/9~9/10)

昨年に引き続き、ニューヨークの国連本部ビル1Fロビーにて、第6回コンテストの優秀作品40点を展示しました。



ハウステンボス美術館(7/22~9/3)

長崎県のハウステンボス内にあるハウステンボス美術館で初開催。作品70点を展示し、夏休み期間中は1日約900人もの方が訪れました。



第7回地球環境世界児童画コンテスト《国内・海外最優秀賞》

国内最優秀賞

秋山雛子(北海道 小学校3年生・8歳)
「春になると馬の親子が外に出てきてお母さんにあまえています。とてもかわいいです。花もたくさんさいてきれいです。だから春はすきです」



海外最優秀賞

Barysheva Oleksandra(アメリカ・15歳)
「『子供は未来である』という言葉があります。これが私の絵の基本テーマです。女の子が花を植えている姿を描くことで、身近な自然を大切にしている気持ちを世界に訴えています。この女の子は、地球環境がよくなることを願う世界中の子供たちを表しています」

入選作品は、コンテスト事務局オフィシャルWebサイトにてご覧いただけます。

第8回地球環境世界児童画コンテスト 募集のお知らせ

人といろいろな生き物が共に生きる豊かな地球に

テ - マ

人と自然の共存
生き物とのふれあい
豊かな自然と暮らし

応募規定

・用紙はB4判(257mm×364mm)
またはハツ切りの画用紙 ・画材は自由

募集対象

小学生・中学生

応募先

〒104-8691 東京京橋郵便局私書箱264号
地球環境世界児童画コンテスト事務局

締め切り

2007年5月31日

入選発表

2007年下旬 事務局ホームページにて
発表予定(受賞者には事務局より通知します)

【お問い合わせ先】

地球環境世界児童画コンテスト 事務局

[TEL] 03-3546-3631 [E-mail] manad@chive.ocn.ne.jp

【オフィシャルWebサイト】

<http://www.childrens-drawing.com/>

JQA マネジメントシステム部門事業所

推進センター

〒100-8308 (JQAの固有番号です)
東京都千代田区丸の内2-5-2
TEL : 03-6212-9555 FAX : 03-6212-9556

ISO関西支部

〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-4-30
ニッセイ新大阪ビル16F
TEL : 06-6393-9040 FAX : 06-6393-9056

ISO中部支部

〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30
名古屋三井ビルディング本館9F
TEL : 052-533-9221 FAX : 052-533-9279

ISO東北事務所

〒024-0051
岩手県北上市相去町山田2-18
北上オフィスプラザ5F
TEL : 0197-67-0031 FAX : 0197-67-0033

ISO九州事務所

〒812-0016
福岡県福岡市博多区博多駅南1-2-3
博多駅前ビル3F
TEL : 092-432-4810 FAX : 092-432-4811

当誌に関するご意見・お問い合わせ先

財団法人 日本品質保証機構
マネジメントシステム部門 企画センター
企画部 調査課

〒100-8308 (JQAの固有番号です)
東京都千代田区丸の内2-5-2
TEL : 03-6212-9654 FAX : 03-6212-9511
E-Mail : iso-network2006@jqa.jp

JQA 財団法人 日本品質保証機構

URL <http://www.jqa.jp>

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。